

人権の日

11月27日(月)2,3校時、人権授業を行いました。薬剤師でありアンプティサッカー選手である遠藤好彦さんをお招きし、講演していただきました。

遠藤さんは小学校から約11年間サッカーをしてきて、高校生のとき事故によって右足を失い、サッカーができなくなりました。以来サッカーから遠ざかっていましたが、アンプティサッカーと出会った18年後、再びサッカーを始めたそうです。そこから練習を重ね、2022年トルコW杯日本代表の主将を務めたとのこと。この後も、日本代表に選出されて国際大会に出場することを目指しているそうです。

義足を外した姿に衝撃を受けましたが、その後つえを軸にして片足でボールをける姿にはさらに衝撃を受けました。さすがスポーツ選手、体さばきが巧みで、リフティングもするなど自由自在です。私も体験させてもらいましたが、何しろ手と足がバラバラに動いて、移動もままならず腕が痛くなってしまいました。まずつえで体を支えるまでに長い時間がかかり、ボールを扱えるまでにはさらに練習を積んだとのことでした。

伝えていただいたのは、チャレンジする大切さ。そしていつからチャレンジしても遅すぎることはない、ということ。子どもたちは大変興味をもった様子で、たくさんの質問が出ていました。



午後は、戸塚区の校長先生を講師にお招きして、職員人権研修を行いました。講演を聞き、また体験活動やグループワークを行いながら、より良い支援のあり方について学びました。

